

CDP水セキュリティ2021 上級者ウェビナー 概要、 W0イントロダクション & W1 現状

CDP事務局
2021年5月



本ウェビナー・資料利用の際の注意点



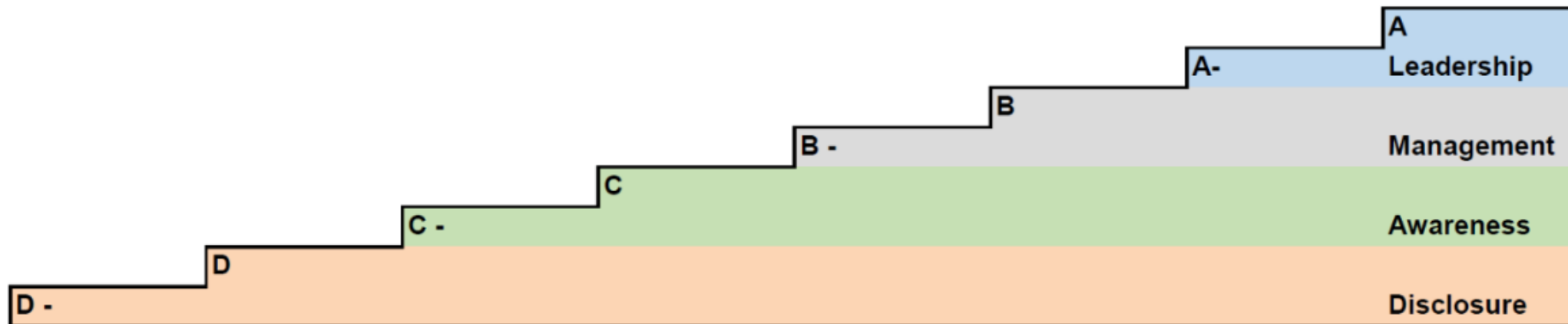
本ウェビナー・資料は、CDPジャパンにて、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくはwww.cdp.netのオフィシャルガイダンスをご参照ください。



スコアリングの概要(1/2)

- スコアは、分子/分母が設定されています。
- 開示(D)、認識(C)、マネジメント(B)、リーダーシップポイント(A)それぞれ異なる基準でスコアが付きます。

Level	Climate Change	Water	Forests	Score band
Disclosure	0-44%	0-44%	0-44%	D-
	45-79%	45-79%	45-79%	D
Awareness	0-44%	0-44%	0-44%	C-
	45-79%	45-79%	45-79%	C
Management	0-44%	0-44%	0-44%	B-
	45-79%	45-79%	45-79%	B
Leadership	0-79%	0-79%	0-79%	A-
	80-100%	80-100%	80-100%	A



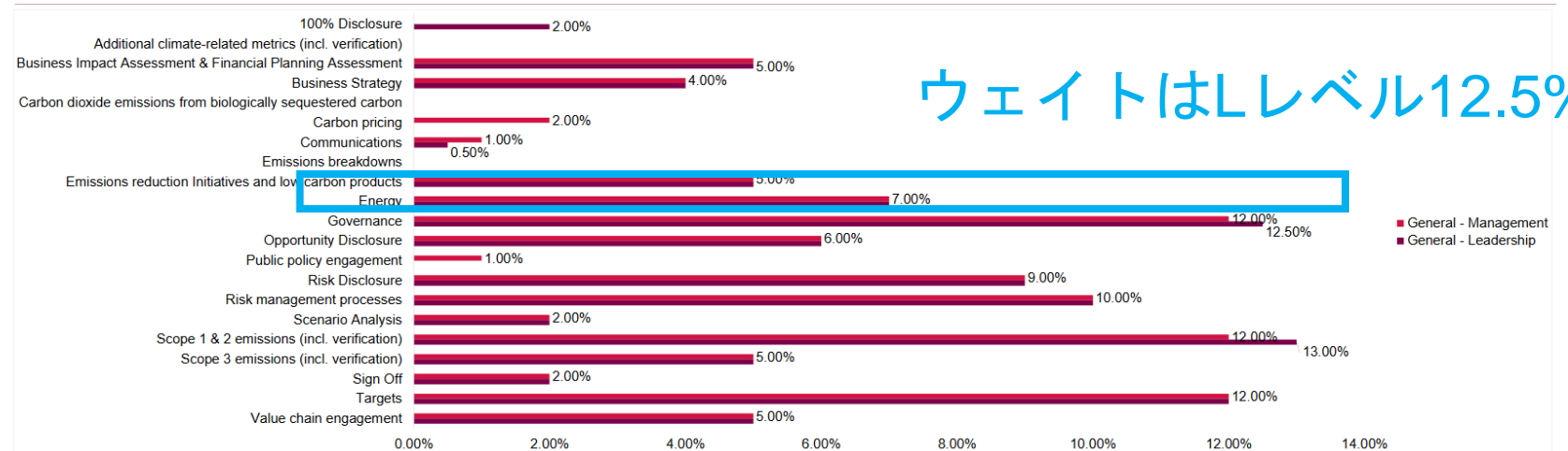
スコアリングの概要(2/2)

- カテゴリごとに合計分子/合計分母にて%を出し、これにウェイトをかけて、全カテゴリを足し合
わせます。
- 管理レベルとリーダーシップレベルは、ウェイト付けがされて最終スコアが決まります。

General scoring categories: Ma						
Module	Scoring Category	Question Number	D	A	M	L
Introduction	100% Disclosure points	C0.1				
	Not scored	C0.2	X	X	X	X
		C0.3	X	X	X	X
		C0.4	X	X	X	X
		C0.5	X	X	X	X
Governance	Governance	C1.1	✓	✓	✓	X
		C1.1a	✓	✓	✓	✓
		C1.1b	✓	✓	✓	X
		C1.1c	✓	✓	✓	✓
		C1.2	✓	✓	✓	✓
		C1.2a	✓	✓	✓	X
		C1.3	✓	✓	✓	X
		C1.3a	✓	✓	✓	✓
		C2.1	✓	✓	X	X
		C2.2	✓	✓	✓	✓
Risks and opportunities	Risk management processes	C2.2a	✓	✓	✓	✓
		C2.2b	✓	✓	✓	X
		C2.2c	✓	✓	✓	✓
		C2.2d	✓	✓	✓	✓
		C2.2e	✓	✓	✓	✓
	Risk Disclosure	C2.3	✓	X	X	X
		C2.3a	✓	✓	✓	✓
		C2.3b	✓	✓	✓	✓
	Opportunity Disclosure	C2.4				
		C2.4a	✓	X	X	X
		C2.4b	✓	✓	✓	✓

Governanceカテゴリ

リーダーシップレベル：
$$\frac{\text{sum}(\text{C1.1の得点} + \dots + \text{C1.3aの得点})}{\text{sum}(\text{C1.1の分母} + \dots + \text{C1.3aの分母})} = A\%$$



ウェイトはLレベル12.5%

Governanceの得点（満点は12.5%）
 $A\% \times 12.5\%$

全カテゴリの同様の数値を
足し合わせる（満点100%）

水セキュリティ投資家要請質問書のモジュール構成

	2021 モジュール	主な内容
一般質問	W0 イン트로ダクション	会社の概要、報告年、通貨、バウンダリ
	W1 現状	水の依存度、水のアカウンティング(水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量の合計値、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合)、バリューチェーンでの協働
	W2 事業影響	報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則
	W3 手順	水リスクの評価方法の手順・考慮される要素
	W4 リスクと機会	水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水によりもたらされる機会
	W5 施設レベルの水会計	施設レベルの水に関するデータ
	W6 ガバナンス	水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与と整合
	W7 事業戦略	事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング
	W8 目標	水関連目標と達成に向けた進捗
	W9 検証	水情報に関する外部検証
	W10 承認	回答承認者の情報



2021年 カテゴリー別ウエイト - 一般

マネジメント（変更なし）と
リーダーシップ（下記参照）

重み付けの変更は、リーダーシ
ップレベルにのみ適用されます



カテゴリー	2020年の重み付け	2021年の重み付け	変化？
コンテキスト	0%	2%	*増加
水の会計	12%	12%	変化なし
バリューチェーン・エンゲージメント	9%	9%	変化なし
ビジネスへの影響	3%	3%	変化なし
水リスク評価	15%	13%	*減少
水関連のリスクの暴露と対応	10%	10%	変化なし
水関連機会	4%	4%	変化なし
水政策	9%	9%	変化なし
ガバナンス	15%	15%	変化なし
事業戦略	7%	7%	変化なし
課題への統合的アプローチ	3%	3%	変化なし
定性的・定量的目標	13%	13%	変化なし



2021年 カテゴリー別ウエイト - セクター

マネジメントとリーダーシップ

重み付けの変更は、リーダーシップレベルにのみ適用されます

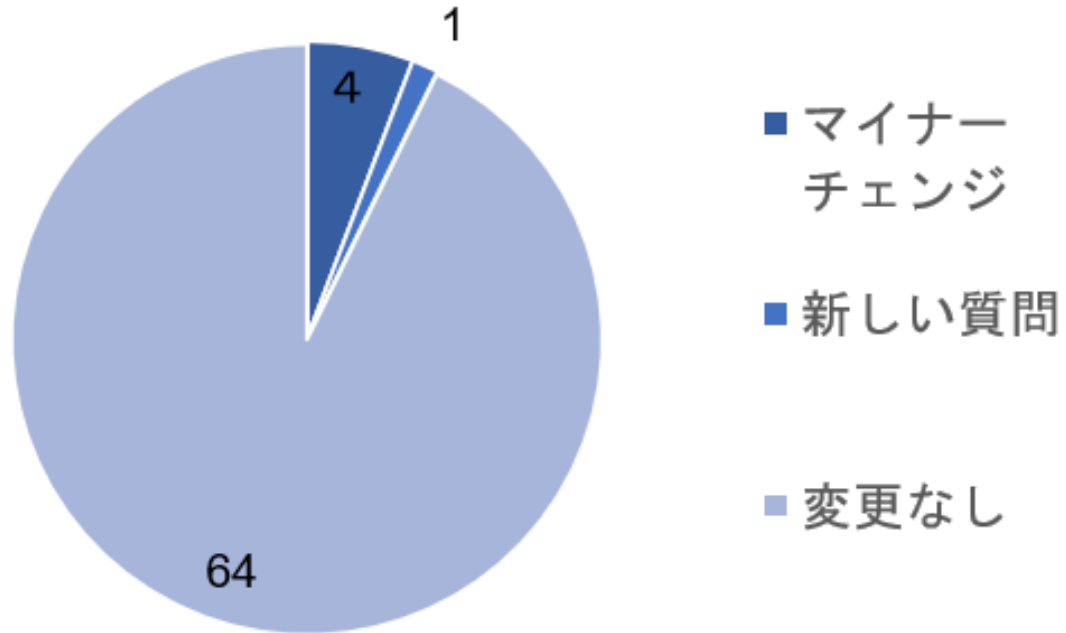


	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
水のカテゴリー/セクター	CH		EU		FBT		M&M		O&G	
コンテキスト	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%
水の会計	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
バリューチェーン・エンゲージメント	9%	9%	5%	5%	12%	12%	6%	6%	6%	6%
ビジネスへの影響	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
水リスク評価	13%	11%	15%	13%	13%	11%	15%	13%	15%	13%
水関連のリスクの暴露と対応	10%	10%	12%	12%	9%	9%	10%	10%	10%	10%
水に関する機会	4%	4%	5%	5%	4%	4%	5%	5%	5%	5%
水政策	9%	9%	9%	9%	8%	8%	9%	9%	9%	9%
ガバナンス	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
事業戦略	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
包囲された課題への統合的アプローチ	7%	7%	6%	6%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
定性的・定量的目標	13%	13%	13%	13%	12%	12%	13%	13%	13%	13%



水セキュリティ - 2021年の変化の範囲

2021年水セキュリティ質問書



質問書の98%が変化なし、または
軽微な変化あり

一つの新しい質問

新しいセクター特有の質問はありません

削除された質問はありません

2021年の全問題数：69問

(セクター別の質問とサプライチェーンモジュールを除く)



2021年ウォーターセキュリティカテゴリー

カテゴリー	
コンテキスト	*
水の会計	
バリューチェーン・エンゲージメント	
ビジネスへの影響	
水リスク評価	*
水関連のリスクの暴露と対応	
水関連機会	
水政策	
ガバナンス	
事業戦略	
課題への統合的アプローチ	
定性的・定量的目標	
検証	

2021年のリーダーシップレベルのみを対象とした新たな重み付けカテゴリー

W1.2jは、2021年に「水会計」カテゴリーにマッピングされた新しい質問です。

* 2021年に向けた重み付けの変更



スコアリングアプローチに関する変更



ベストプラクティスへのインセンティブを与えるための認識レベルでのポイント配分の変更

ガバナンスに関する質問（W6.2b, W6.3）におけるプログラム横断的な整合性

基準をより明確にするための表現変更（採点への影響なし）

重要な除外項目について（W0.6, W0.6a）Aリストの資格基準が明確化。



質問レベルの変更 変更点の概要



新しい基準	コンテキスト	W0.6/W0.6a	情報開示、認識、リーダーシップ
	水の会計	W1.2j	情報開示、認識
主な基準の変更	バリューチェーン・エンゲージメント	W1.4	認識
	環境問題への統合的アプローチ	W-MM3.2a	認識
	水政策	W6.1	認識
	ガバナンス	W6.4, W6.6	認識
	環境問題への統合的アプローチ	W7.3	認識 & マネジメント
	事業戦略	W7.4	認識
クロステーマ・アライメント	水関連のリスクエクスポージャーと対応	W4.2, W4.2a	認識
	ガバナンス	W6.2b	マネジメント
	ガバナンス	W6.3	リーダーシップ
軽微な変更と明確化	バリューチェーン・エンゲージメント	W1.4a	マネジメント
	環境問題への統合的アプローチ	W-CH/EU/FB/OG3.1	マネジメント
	環境問題への統合的アプローチ	W-MM3.2c	マネジメント
	水のリスク評価	W3.3a	マネジメント
	水のリスク評価	W3.3b	マネジメント & リーダーシップ
	水に関する機会	W4.3a	マネジメント
	事業戦略	W7.1	マネジメント
	定性的・定量的目標	W8.1a, W8.1b	マネジメント
	事業戦略	W7.2	リーダーシップ

質問書回答への影響は最小限またはゼロ



要点

- 1) 排水処理に関する一つの新規質問（W1.2j）
- 2) サプライヤーエンゲージメント（W1.4b）、水リスク（W2.1a、W4.2）、目標（W8.1a）に新規ドロップダウンを含むなど、4つのマイナーチェンジ。
- 3) 鉱滓ダム（金属・鉱業セクター-W-MM3.2a）に関する1件の質問を修正
- 4) 2つの設問でのガイダンス追加（W1.2d、W7.3）
- 5) 複数の設問にある「説明してください（please explain）」ボックスの文字数制限の増加、水ストレス地域からの取水（W1.2d）と水原単位の計算（W-FB1.3、W-FB1.3a）の両方のガイダンスの多少の明確化



- リーダーシップポイントの最低基準点（閾値）を達成する
- 重要な除外項目がないこと（質問W0.6/W0.6a）
- 投資家の要望に対する公開回答の提出

さらに、追加のチェック（レピュテーションチェック）



Aリストの基準 2021年

Aリストの基準に変更はありませんが、2021年に向けて明確化されました。



このAリストの必須基準は、質問W0.6/W0.6aの回答と関連しています。

- 重要な関連性のある除外がない(質問W0.6/W0.6a):

- 除外の背景において(質問W0.6a)、企業は少なくとも、水量および/または水質の影響に関して(すなわち、汚染負荷に関して)、報告した各除外内容の重大さの程度の定性的な指標を示す必要があります。例えば、報告年に取水した総数量と比較した時に、除外内容に関連した水利用量が代表的ではない、あるいは最低限であることを示すこと。
- 除外内容の重大さは、企業のセクターや関連事業活動; 除外内容が具体的な場所での操業を代表する場合(地理的場所(そして、高いレベルの水ストレスにさらされている場合などのその場所の流域の状況); そして全体に対して除外項目がどのくらいの環境影響を代表するかなどの要因に左右されます。記入した定性的な情報は、出来る限り多く、上記の点に対処する必要があります。
- 定性的な情報を含めることは重要性の決定を支援します。例えば、総算定数値のうちの水利用の割合、または除外項目に関連した水影響のその他の数値推定値。

説明で何らかの種類の水影響または定性的な情報の記入を怠った企業には、2021年水セキュリティAリストの獲得資格がなくなります。

上下水道・衛生(WASH)サービスで使用する水と採取した雨水は、重大な除外内容のほか、最近の企業分割や最近の合併買収とは見なされません。最近の合併買収による除外内容を報告する場合、買収が起こった年と、組織がその報告に水関連データを含めるつもりを含めます。

- 投資家の要請に対する公開の回答の提出。

さらに、企業は多くの確認事項を満たしている必要があり、その詳細はスコアリングの手引きの資料をご覧ください。

▼W0.6aへの対応は、Aリストの資格を得るための必須基準の一部である。

▼少なくとも、報告された各除外項目の有意性のレベルを定性的に示す必要があるが、定量的な指標を含めることがベストプラクティスである。



W0 Introduction／イントロダクション

2020 モジュール

W0 イントロダクション

W1 現状

W2 事業影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水データ

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 承認

W0.1 企業概要

W0.2 データの報告年の開始日と終了日の記入

W0.3 データを提供する国を選択

W0.4 すべての財務情報に使用される通貨を選択

W0.5 水に関連する影響の報告対象とした会社、事業体、またはグループの報告範囲(バウンダリ)として該当するものを選択

- ★ 財務支配力(financial control)を有している会社、事業体またはグループ
- ★ 経営支配力(operational control)を有している会社、事業体またはグループ
- ★ 株式を保有している会社、事業体またはグループ
- ★ その他

W0.6/0.6a バウンダリの除外

重要な除外項目

W0.6

このバウンダリ（境界）内で、地域、施設、水の側面、またはその他の開示対象外のものはありますか。

Response options

Select one of the following options:

- Yes
- No

リーダーシップ0/0ポイント

W0.6aに対応

リーダーシップ。1/1ポイント

- ▼ これまでは2020年にスコアリングされなかった
- ▼ 2021年の情報開示およびリーダーシップレベルの新基準
 - ▼ 情報開示の完成度を評価・採点

変更の根拠

- ▼ 重要な除外項目を持たない企業をより評価する
- ▼ Aリストの資格基準との関連で、この質問の重要性を強調する

Aリストの必須条件に直結する設問

重要な除外項目

W0.6a

除外項目を報告してください。

質問の依存性

- W0.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

回答選択肢

以下の表に回答を記入してください。表の下にある「回答行を追加」ボタンを押すことで、回答行を追加できます。

除外対象	説明してください
文章入力欄[最大2,500文字]	文章入力欄[最大2,500文字]

- ▼ これまでは2020年にスコアリング対象外でしたが、新たに対象となります
- ▼ 2021年に向けた「情報開示」「認識」「リーダーシップ」の新基準

変更の根拠

- ▼ W0.6aにスコアリングを導入し、定義された報告対象範囲に含まれない活動や施設を取り巻く企業からのより良い報告を促進する。
- ▼ データの比較可能性/文脈の改善

Aリストの必須条件に直結する設問

重要な除外項目

W0.6a

リーダーシップ採点基準

リーダーシップポイントが付与されるには、情報開示ポイントと認識ポイントが満点付与されている必要があります。

A) 説明してください欄で、報告した各除外に関して以下の内容を記入した場合、ポイントが比例的に付与されます:

- i) 総使用量(または消費量)あるいは排出される汚染負荷のかなりの部分を代表するのを含む、除外の根拠 - 1ポイント
- ii) 除外項目が占める水量の定量的な尺度 (例: 総取水量 (または消費量) に対する割合) (%) - 0.5ポイント

B) 最近の合併/買収によると報告した除外に関して: 買収が発生した年、且つ、報告にデータを含めることが見込まれる時期を企業が含める場合、リーダーシップポイントが満点付与されます。

上下水道・衛生(WASH)サービスで使用する水と採取した雨水は、重大な除外内容のほか、最近の企業分割とは見なされません。

▼ 除外項目の根拠と、除外項目の定量的な評価を求める新しいリーダーシップ基準

▼ 最近の合併・買収に伴う除外項目は、基準を満たせば認められます

例

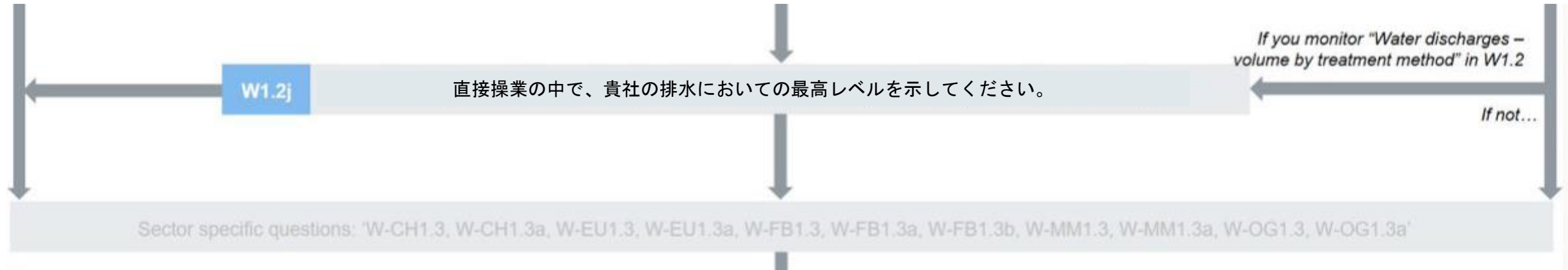
Exclusion	Please explain
コロンビア	コロンビアにある2つの施設は、重要ではないと考えられるため、本年度の報告からは除外されています。この施設は、報告年度に全社で消費された水の総量の0.03%に相当します。

W1 現状

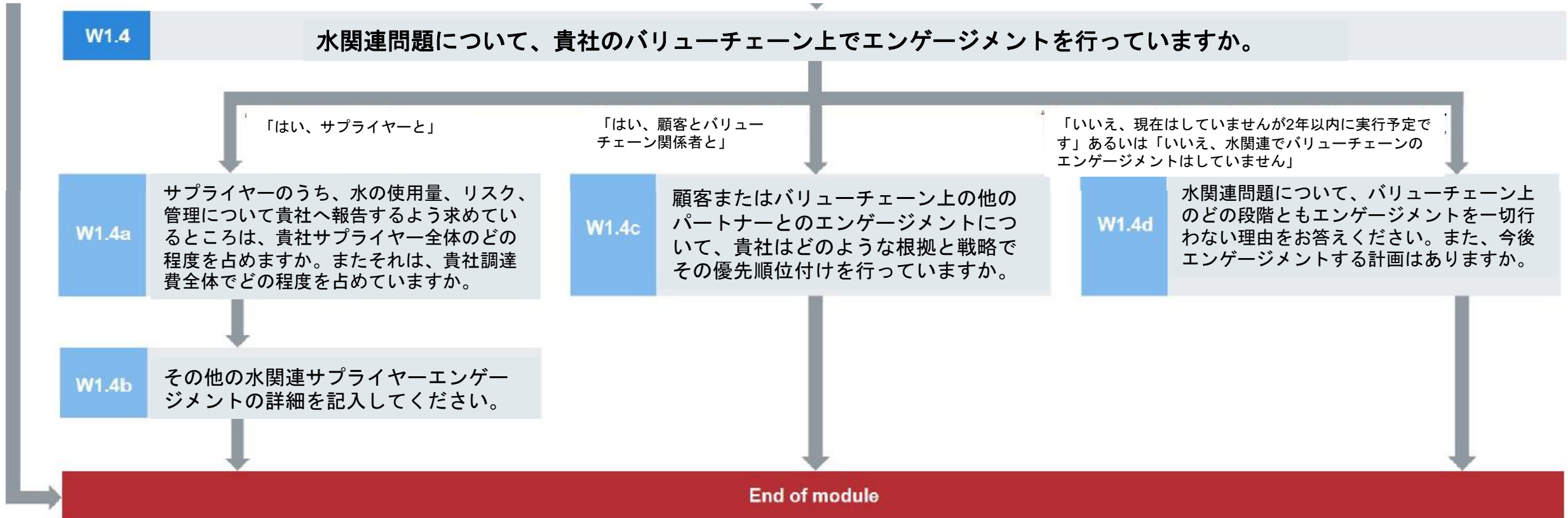


W1 現在の状態

一つの新しい質問



バリューチェーン上のエンゲージメント



変更の種類—認識レベルにおけるポイントの再配分

- ▼ 近い将来に行動を起こす意思を示した場合、部分的に加点
- ▼ 変更の目的は以下の通りです。
 - ▼ ベストプラクティスを奨励する
 - ▼ 今、行動を起こしているリーダーに報いる

質問	満点の選択	部分点の選択	ゼロポイントの選択
(W1.4) 水関連の問題について、バリューチェーンと関わっていますか？	<ul style="list-style-type: none"> はい、私たちのサプライヤーです。 はい、当社のお客様やその他のバリューチェーンパートナー 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、現在はありますが、今後2年以内に行う予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、水に関するバリューチェーンとの関わりはありません。
(W6.1) 貴社は、水に関する方針を持っていますか？	<ul style="list-style-type: none"> はい、水に関するポリシーを文書化し、公開しています。 	<ul style="list-style-type: none"> はい、水に関するポリシーを文書化していますが、一般には公開していません。 ありませんが、今後2年以内に開発する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ
(W6.4) 水関連の問題を管理するために、役員レベルの従業員や役員にインセンティブを与えていますか？	<ul style="list-style-type: none"> はい。 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、現在はありますが、今後2年間で導入を予定しています 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、今後2年間に導入する予定はありません。
(W6.6) 貴社は、水関連のリスクへの対応に関する情報を、直近の主要な財務報告書に記載しましたか？	<ul style="list-style-type: none"> はい。 	<ul style="list-style-type: none"> ありませんが、今後2年間で実施する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、その予定はありません。
(W7.3) 貴社は、ビジネス戦略に気候関連のシナリオ分析を利用していますか？	<ul style="list-style-type: none"> はい。 	<ul style="list-style-type: none"> ありませんが、今後2年間で実施する予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後2年間の予定はありません
(W7.4) 貴社では、インターナルウォータープライシング（水に社内価格）をしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> はい。 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、しかし現在、水の評価方法を検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、今後2年以内にそうすることは予想していません

排出物の処理に関する会計処理

W1.2j

貴社直接業務の中で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。



新しい質問

2021年情報開示と認識のレ
ベルでのみ採点

直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量 (メガリットル/年)	前報告年との処理済み量の比較	この量が適用される操業地/施設/事業の割合(%)	説明してください
三次処理 (高度処理)	選択肢: ● 関連する ● 関連するが量は不明 ● 関連性がない	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: ● 大幅に少ない ● 少ない ● ほぼ同じ ● 多い ● 大幅に多い ● 初めての測定 (前報告年なし)	選択肢: ● モニタリングなし ● 1%未満 ● 1-10 ● 11-20 ● 21-30 ● 31-40 ● 41-50 ● 51-60 ● 61-70 ● 71-80 ● 81-90 ● 91-99 ● 100% ● 不明	文章入力欄[最大2,000文字]
二次処理	<div>「関連性」の欄で、「関連性はあるが容量は不明」以外の選択肢が選択されている場合、各行の完成度に応じて1認識ポイントが付与されます。</div>				
一次処理のみ					
未処理で自然環境に排水					
未処理で第三者に排水					
その他					

情報開示基準

■ セルの完成度で採点

認識基準

■ [事業への関連性]欄で[関連するが量は不明]を除くいずれかの選択をしていただく必要があります。

W1.2j - 処理のレベル別排出量

回答例



新しい質問

根拠

処理レベルの報告を行うことにより、企業が排水をモニタリングしており、どの活動が水質にどの程度影響を与えているかを理解できるようになります。

注意：この設問はミニマム版の質問書には出てきません。

(W1.2j) 貴社の直接操業内で、貴社が排水を処理する最高レベルを示してください。

直接操業内での処理の最高レベル	排水する処理レベルの事業への関連性	量(メガリットル/年)	前報告年との処理済み量の比較	この量が適用される操業地/施設/事業の割合(%)	説明してください
三次処理（高度処理）	選択肢: <ul style="list-style-type: none">関連する関連するが量は不明関連性がない	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none">大幅に少ない少ないほぼ同じ多い大幅に多い初めての	選択肢: <ul style="list-style-type: none">モニタリングなし1%未満1-10100%不明	文章入力欄[最大2,000文字]
二次処理					
一次処理のみ					
未処理で自然環境に排水					
未処理で第三者に排水					
その他					

三次処理（高度処理）＝90メガリットル

二次処理＝0メガリットル

一次処理＝10メガリットル

第3列の「量（メガリットル/年）」の合計は、全社的な排水量の合計と一致しなければならない（W1.2b）。

例：100メガリットル

この設問は、W1.2「放流先別の総放流量データを提供してください」の中で、「放流水-処理方法別の放流量」をモニタリングしていることを示している場合にのみ表示されます。



Explanation of terms

- **Primary treatment:** Primary treatment involves the physical removal of suspended solids and floating material, typically by sedimentation. A preliminary treatment may often be applied involving the physical removal of large debris, large particles, oils, and grease, typically through screens and grit chambers.
- **Secondary treatment:** Secondary treatment involves the degradation of organic matter and reduction of solids through biological treatment. The removal of nutrients (nitrogen and/or phosphorus) can also be achieved at this level of treatment using a combination of chemical and biological treatments. Secondary treatment follows primary treatment.
- **Tertiary treatment:** Tertiary treatment involves the additional treatment needed to remove suspended, colloidal and dissolved constituents (nutrients, heavy metals, inorganic and other contaminants) remaining after secondary treatment through a number of processes including granular media filtration, biological nitrification-denitrification, biological phosphorus removal, chlorination, etc. Tertiary treatment follows secondary treatment.

用語の説明（仮訳）

一次処理

一次処理では、通常、沈降によって懸濁物質や浮遊物質を物理的に除去するものを指します。予備処理では、通常、スクリーンや沈砂地を用いて、大きなゴミ、大きな粒子、オイル、グリスを物理的に除去することが行われる。グリスを物理的に除去する予備処理が行われることが多い。一般的にはスクリーンや沈砂地を使用します。

二次処理

二次処理では、生物学的処理による有機物の分解と固形物の減少が行われる処理のことを指します。このレベルの処理では、化学的処理と生物学的処理を組み合わせ、栄養素（窒素および／またはリン）の除去を行うことができます。化学処理と生物処理を組み合わせで行います。二次処理は一次処理の後に行われます。

三次処理

三次処理では、二次処理後に残った懸濁成分、コロイド成分、溶存成分（栄養塩、重金属、無機物、その他の汚染物質）を除去するために必要な追加処理を行います。粒状媒体ろ過、生物学的硝化脱窒、生物学的リン除去、塩素消毒などのプロセスを経て、二次処理後に残る懸濁成分、コロイド成分、溶存成分（栄養塩類、重金属、その他の汚染物質）を除去するために必要な追加処理を行います。三次処理は二次処理の後に行われます

バリューチェーン・エンゲージメント

W1.4

水関連の問題について、バリューチェーンと連携していますか？

回答選択肢

以下の選択肢から該当するものをすべて選択:

- はい、サプライヤーと
- はい、顧客、またはその他のバリューチェーン・パートナーと
- いいえ、現時点ではありませんが、今後2年以内に行う予定です
- いいえ、水関連でバリューチェーンと協働していません

1ポイント

0.5ポイント

認識レベルでのポイント分配の変更

- ▼ 企業がサプライヤーや顧客、その他のバリューチェーンパートナーと連携するための動機付け

W1.4b - サプライヤーエンゲージメント

(W1.4b) その他の水関連サプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。

マイナーチェンジ

根拠

- 企業は、サプライチェーンにおける汚染除去に積極的に取り組んでいることを示すべきである

説明

- 2列目の「研修とコンプライアンス」内の選択肢を新規で追加。「排水処理のための最低基準を設定し、満たすための要件」の欄に新しい選択肢が追加されました。

エンゲージメントの種類	エンゲージメントの具体的内容	数値ごとのサプライヤーの割合	調達費全体における比率(%)	エンゲージメントの対象範囲の根拠	エンゲージメントがもたらす影響と成果の評価方法	コメント
選択肢: <ul style="list-style-type: none">その他のサプライヤーエンゲージメントはない新人研修とコンプライアンス水管理の改善とスチュワードシップへの動機付け技術革新と協力その他	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢	選択肢: <ul style="list-style-type: none">なし1%未満1-2526-5051-7576-100不明	選択肢: <ul style="list-style-type: none">なし1%未満1-2526-5051-7576-100不明	文章入力欄[最大 2,500文字]	文章入力欄[最大2,500文字]	文章入力欄[最大500文字]

エンゲージメントの詳細(2列目)

新人研修とコンプライアンス <ul style="list-style-type: none">サプライヤーの選抜メカニズムにウォータースチュワードシップとリスク管理を組み込んでいる水関連目標の要件が、サプライヤーの選定メカニズムとして含まれているウォータースチュワードシップおよび管理に関する自社行動規範を順守することが排出物の処理に関する最低基準を設定し、それを満たすことが要件その他、具体的にお答えください	技術革新と協力 <ul style="list-style-type: none">水への影響を削減するような製品とサービスの技術革新を奨励/報奨サプライヤーが当該河川流域の他の利用者と協力して取り組むよう奨励/報奨
水管理の改善とスチュワードシップへの動機付け <ul style="list-style-type: none">貴社のサプライヤーの関係管理において、水関連の定量的目標に対する明白な進展がインセンティブ化されている水管理およびスチュワードシップ行動をサプライヤー評価に組み込んでいる水管理およびスチュワードシップをサプライヤー褒賞プログラムに組み込んでいるサプライヤーに経済的インセンティブを提供し、水に対する操業上の影響を供給製品を通じて削減するよう奨励サプライヤーに経済的インセンティブを提供し、自らの操業およびサプライチェーン全体を通じて水管理およびスチュワードシップを改善するよう奨励その他、具体的にお答えください	その他 <ul style="list-style-type: none">その他、具体的にお答えください

新規で追加された選択肢です。
最低限の排水基準を設定し、満たすことの要件

この質問は、企業がW1.4の回答で「はい、当社のサプライヤー」を選択した場合にのみ表示されます。列で「研修とコンプライアンス」を選択した場合にのみ、新しいドロップダウンが2列目に表示されます。



W1 Current state／現状

2020 モジュール

W0 イントロダクション

W1 現状

W2 事業影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水データ

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 承認

W1.1 貴社事業の成功にとって、水の質と量はどの程度重要ですか？（現在および将来の）重要度をお答えください。

	直接操業での重要度	間接操業での重要度	説明してください
十分な質・量の淡水	XX ・全く重要でない ・あまり重要でない ・中間 ・重要 ・必須 ・評価したことがない	YY 選択肢同左 ①主な用途、②なぜXX なのかの説明、③将来 の依存度とその説明	直接操業、間接操業それぞれについて...
十分な質・量のリサイクル水、汽水、随伴水			

W1 Current state／現状

W1.2 事業全体の水の各側面について、定期的に測定・モニタリングする割合

2020 モジュール	水の側面	施設の割合(%)	説明してください
W0 イン트로ダクション			
W1 現状	取水—総取水	選択肢	<p>>測定している場合は、以下を記載。 ①測定する頻度(毎月、四半期ごと、毎年) ②測定の方法(ハイドロメーター、水道料金明細)</p> <p>>関連しない(not relevant)を選択した場合、以下を記載。 ①なぜこの水が重要でない(not relevant)なのか ②将来予測</p>
W2 事業影響	取水—水ストレス地域からの取水量	・測定していない	
W3 手順	取水—水源別取水量 取水の質	・1%未満	
W4 リスクと機会	排水—総排水量	・1-25%	
W5 施設レベルの水データ	排水—放流先別排水量 排水—処理方法別排水量	・26-50%	
W6 ガバナンス	排水の質—標準的排水基準別	・51-75%	
W7 事業戦略	排水の質—温度	・76-99%	
W8 目標	水消費—総消費量	・100%	
W9 検証	リサイクル水/再利用水	・重要でない(not relevant)	
W10 承認	十分に機能し安全な水と衛生の設備を全従業員に提供		

施設の割合の計算方法・・・分母はその水を使用している施設数
頻度・・・最低でも一年に一回は測定していること



変更点 水セキュリティ質問書2021



- ▼ すべての変更点の詳細なリストについては下記をご参照ください。

“CDP Question Changes and Map: 2020 to 2021”
published on the guidance page of CDP website.

- ▼ 主な変更点の概要 - モジュールごと
- ▼ セクター別の質問の変更
- ▼ 日本語版の変更点概要はこちら



CDPが提供している主な資料(リンク集)

- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)





CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



問い合わせ先代表: japan@cdp.net

SBTについて

RE100について

CDPレポーターサービスについて

CDPサプライチェーンプログラムについて

メディアの方向け

回答事務費用の原本発行依頼

sbt.japan@cdp.net

re100.japan@cdp.net

reporterservices.japan@cdp.net

supplychain.japan@cdp.net

press.japan@cdp.net

accounts.japan@cdp.net

